



じゃがいもずきん  
「ききぼう」くん

地震などの災害時は、散乱した建物の木材や鉄くず、はみ出た釘、割れたガラスなどが散乱しています。なので、足を怪我しないように**厚底の靴**を履きましょう。出水の時は、長靴（レインブーツ）では脱げやすいためスニーカーを履きましょう。

災害時に長靴を履いている人をよく見かけますが、普通の長靴（レインブーツ）では怪我をしてしまいます。消防士が履くような瓦礫の上を歩いても大丈夫のように、底や足先に鉄板が入っていたり、素材そのものが耐熱素材であるなど、普通の長靴（レインブーツ）とは機能が全く違う**災害用ブーツ**を履くことをおすすめします。

また、避難所に着いたものの上靴を忘れてしまった場合などに役立つのは、**新聞紙スリッパ**です。新聞紙スリッパには、『子供用』や『かかと付き』、『小学生が考えたと言われている優れたもの』などもありますが、今回は一番オーソドックスなものを紹介します。知っていれば、いざというときに役立ちます。作り方を覚えておきましょう。

表

### 新聞紙スリッパの作り方 [用意するもの：新聞紙2枚・ガムテープ]

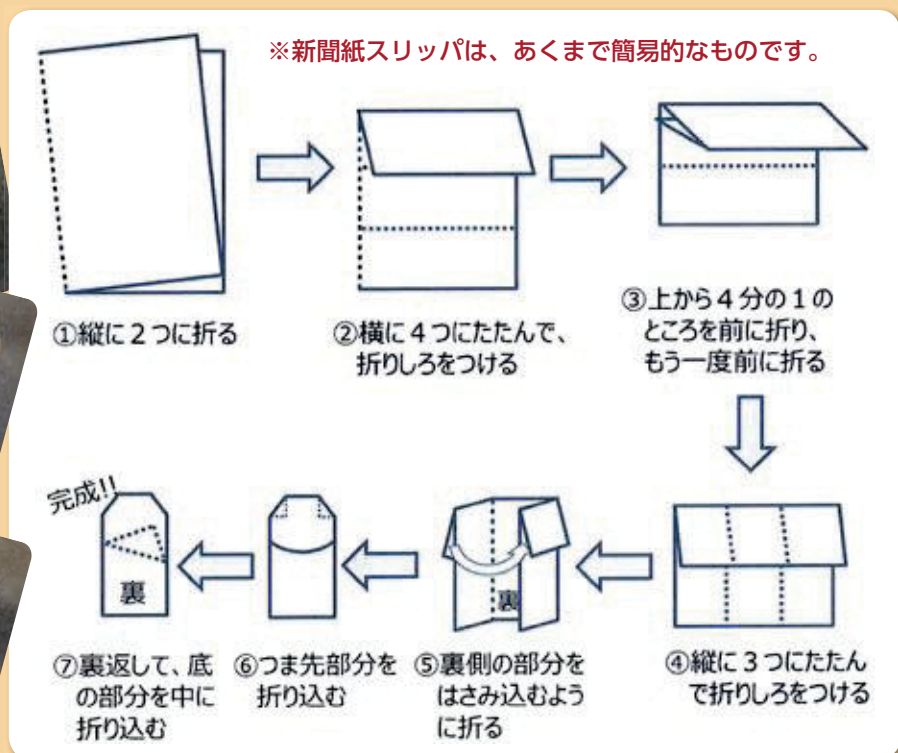


裏



かかと側を折り込んだ場合(表)

ヒラヒラが気になる場合(裏)



**災害時は、危険です！**  
**外へ出るときには、必ず、靴を履いてください！**  
**新聞紙スリッパのまま、外へ出てはいけません！**

大きな地震が発生したときなどには、窓ガラスが割れたり戸棚が倒れて食器が割れたりして、室内でもモノが飛び散っていることがあります。絶対に素足で歩かず、スリッパや靴を履いて移動してください。

災害時のスリッパ作成用に新聞紙を用意しておくのは、本末転倒です。あらかじめスリッパや使っていない靴を、部屋の枕元に用意しておきましょう。

新聞紙スリッパは旅行やレジャー、片付けや大掃除などの日常の方が簡単に作れる使い捨てスリッパとして活躍します。普段から作り慣れていると、いざというときに慌てることはありません。練習もかねて便利グッズとして新聞紙スリッパを活用してください。

また、新聞紙スリッパは新聞紙でできていますので床の材質や履き方によっては、床にインクが付着してしまいます。拭き取れば落ちますが、綺麗な室内で履く場合には十分注意してください。

詳しくは、総務課 防災係まで。